

## 雑誌「日経コンピュータ」へ寄稿連載開始

当社は雑誌「日経コンピュータ」10月2日号より、連載「実践!プライベートクラウド構築指南」を開始します。

当社は基幹システムの構造改革に2002年から取り組み、プライベートクラウド型のインフラ統合によってシステム運用品質向上とコスト削減を実現しました。

全6回の連載でプライベートクラウドにクローズアップし、気をつけるべきポイントや長く使いこなすための運用方法など、実践的な方法を解説します。

## 「アニュアルレポート2014」(日本語版・英語版)を発行

当社はこのたび、投資家のみなさまへ2013年度の経営・財務情報をお伝えする「アニュアルレポート2014」(日本語版・英語版)を発行しました。

「ITの“サービス”化(as a Service)」をキーワードに、“真のビジネスパートナー”への進化をめざす当社の取り組みをさまざまな角度からご理解いただける内容となっています。是非ご覧ください。



当社ホームページ→「企業情報」→「投資家向け情報」→「アニュアルレポート」でご覧になれます。

## イベント・セミナー予定

### 東京地区

“消費税の軽減税率”に関する検討状況の内容と方向性について

日時 9月18日(木) 14:00~17:00

場所 東京オフィス セミナールーム

### AppExchange EXPO 2014

日時 9月18日(木) 10:30~19:00

場所 JPタワーホール&カンファレンス

「ASTERIA WARP」と「BizFit Connects」を出品します。

### 大阪地区

“消費税の軽減税率”に関する検討状況の内容と方向性について

日時 9月17日(水) 14:00~17:00

場所 梅田オフィス セミナールーム

詳しくは<http://service.is-c.panasonic.co.jp/event/>をご覧ください!

# Move to Delight

## IS クローズアップ

# 2014 09 Vol.38

パナソニック インフォメーションシステムズ

## Close Up Now

いま注目のエネマネで賢くコスト削減!  
「eneview」を活用したスマート節電のススメ



## TOPICS

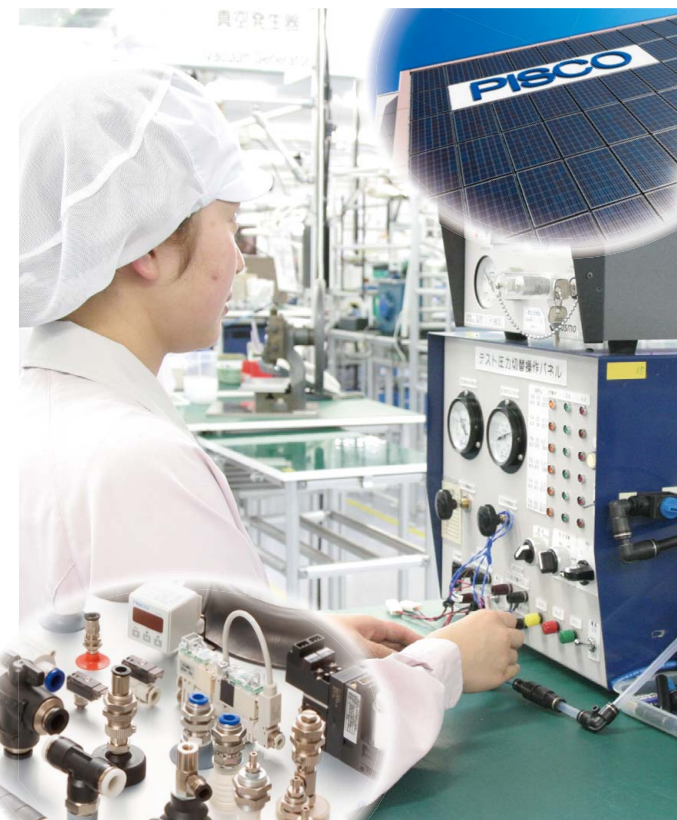
雑誌「日経コンピュータ」へ寄稿連載開始

「アニュアルレポート2014」(日本語版・英語版)を発行



## あいえず☆うちのBOSS

サービスビジネス本部  
IDCサービス事業部  
グループマネージャー 萩原延治



▲業界トップクラスの実績を誇る空気圧機器の専門メーカー・日本ビスコ

## 【社長・前川のちよつと一言】

# 環境と心の大切さ

この夏世間を騒がせた情報漏えい事件は、情報セキュリティに対する意識のあり方とその重要性について改めて考え直す契機となりました。私たちIT事業者は、情報セキュリティに細心の注意を払っています。当社も専門部署を置き、悪意(持ち出し)や過失(紛失・誤送信)、内部要因(関係者)や外部要因(ハッキング・ウイルス)など、あらゆる可能性を想定し対策を講じています。一方、不正のトライアングル理論では、「機会(不正可能な環境がある)」「動機(個人の事情)」「(不正の)正当化」がすべて揃った時に不正

行為が起こるとされています。この3つの不正リスクを揃わせないためには、何をすべきか。例えば、物理セキュリティの強化による環境整備はもちろんのことですが「心を整える」ことも大切です。風通しの良い職場風土しかり、ルールを形骸化させない意識づくりしかり、それは、お客さまの企業活動の生命線である情報をお預かりしているという責任感を共有することに他なりません。こうした取り組みなども通じて、今後も安心してご利用いただけるよう努めてまいります。



代表取締役社長 前川 一博  
Kazuhiro Maegawa

## あいえず☆うちのBOSS

その15

今回は、IP電話やビデオ会議などさまざまな通信手段を統合する「ユニファイドコミュニケーション」の担当グループに潜入。グループマネージャーの萩原延治を入社4年目の藤野友紀が紹介してくれました。「当部署では音声・映像・ネットワークなど、いつでもどこでも誰とでも最適なツールで繋がるサービスの提供を展開しています。互いに声を掛け合う、活気のある部署だと思います」。昨年東京に転勤してからも精力的に全国を行き来している彼女。最近取り組んでいた案件は、パナソニック エコソリューションズ社の電話料金合理化活動だそうです。「2014年から電話回線のキャリア交替を開始しました。全国、9,000回線が対象で、かなりコスト



サービスビジネス本部  
IDCサービス事業部  
藤野友紀

ダウンできる見込みです。このプロジェクトのリーダーが萩原さん。萩原さんは穏やかで何事にも丁寧で、いつも助けられてばかりです。印象的な思い出はありますか?「昨年、私がパナソニックグループ電話対応コンクールに出場した際、萩原さんはじめ部署のメンバーが休日にもかかわらず駆けつけてくれたんです。とても嬉しかったですし、皆の応援があっただけの最優秀賞だと思います!」さすがコミュニケーションを扱う部隊。ピカイチの団結力を感じました!

東京へ転勤頂いて、もう少して1年ですね。ユニファイドサービスGにおける東日本地区の“顔”とされることを期待しています。

## 今号のボス

サービスビジネス本部  
IDCサービス事業部  
グループマネージャー  
萩原延治

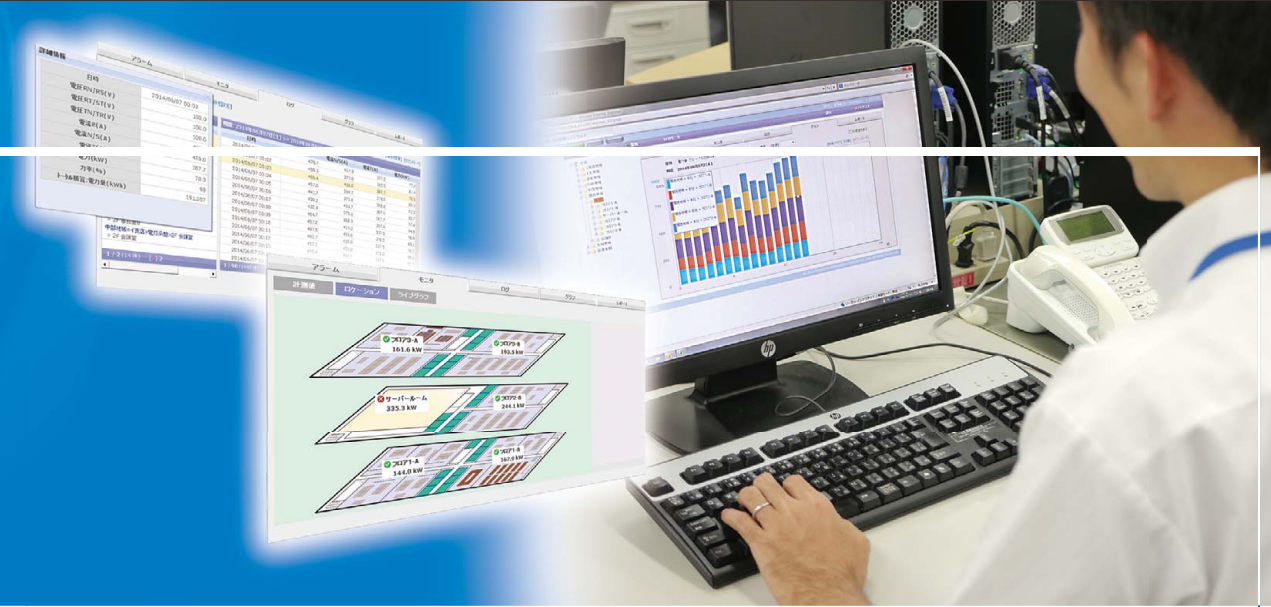


## 編集後記

夏休みは中華料理でビール、ビアガーデンでビール、バーベキューでビール、焼鳥でビールと飲食三昧でした。休みが明けて徐々に体重計に乗ると、そこには悲惨な数値が。毎日体重をチェックしないと意味がないですね…。年に一度の健康診断を間近に控えながら、体重見える化・暴飲暴食抑止の重要性を痛感している今日この頃です(食欲を制御できたらいいのに…)。

発行元  
パナソニック インフォメーションシステムズ株式会社  
法務部 広報・IRグループ  
〒530-0013 大阪市北区茶屋町19-19 アプロースタワー16F  
TEL 06-6377-0100 FAX 06-6377-0833 <http://is-c.panasonic.co.jp/>  
※本紙掲載記事の無断転載・複製を禁じます。  
※本紙に記載された社名および商品名などは、それぞれ各社の商標または登録商標です。

## いま注目のエネマネで賢くコスト削減! 「eneview」を活用した スマート節電のススメ



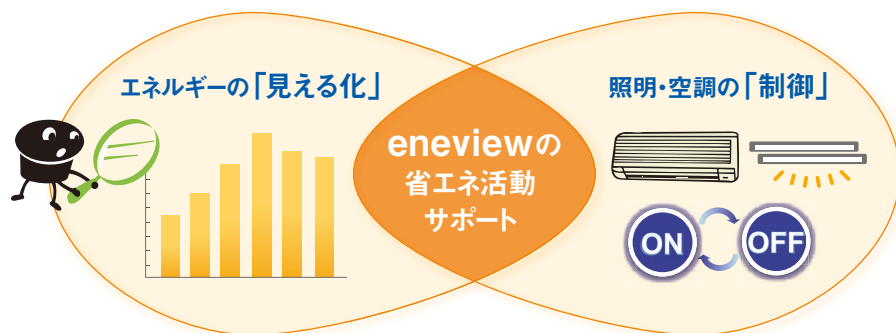
先端の環境配慮技術により、エネルギーマネジメントはますますスマートに。コスト削減への大きな一手として多くの企業が実践し始めています。今号では、そんなエネマネの「入門編」から「上級編」までカバーする環境監視ソフトウェア「eneview」を紹介します!

「うちのオフィス、どこでどれだけ電力を使っているんだろう...?」エネルギー消費の現状、意外と把握していない方も多いのではないのでしょうか。省エネ活動の基本は電力の「見える化」。それだけでなく、利用者全員に電力使用状況を知ってもらう「見える化」も、意識改革の方法として効果的です。パナソニックISでは、エネルギーの「見える化」「見える化」で省エネ活動をサポートする環境監視ソフトウェア「eneview」をご提供しています。この9月にバージョンアップし、新たに照明や空調の

制御機能も追加。不要な照明を消したり、部屋の冷やしすぎ・暖めすぎを防いで、ムダな電気の消費を自動的に抑えることも可能になりました。「まずは見える化から...」という方にも「創エネ・

### エネビュー eneview

蓄エネまで賢くエネルギーマネジメントしたい! という方にも、お客さまの施設規模や用途に合わせた最適なソリューションをご提案いたします。

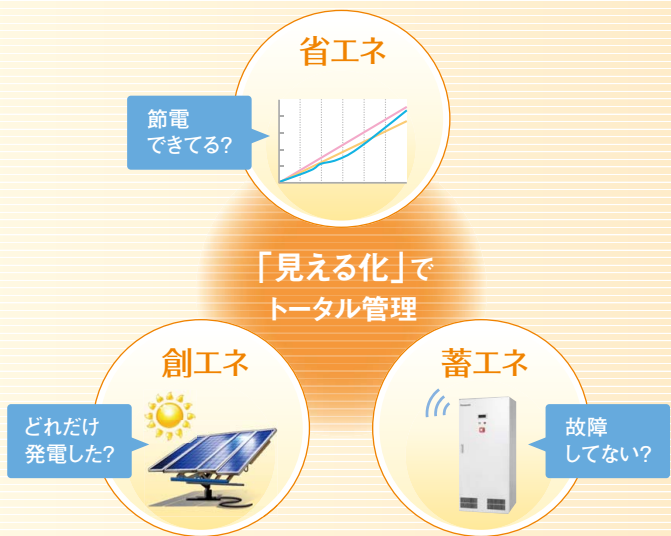


### 省エネ・創エネ・蓄エネの話

エネルギーを節約する「省エネ」はすっかり世の中に浸透しました。近ごろはこれだけでなく、太陽光発電などでエネルギーを作り出す「創エネ」と、余ったエネルギーを蓄電池にたくわえる「蓄エネ」という言葉も多く聞かれるようになってきました。

例えば、昼間に太陽光発電の電力を貯めておき夜間に電力供給したり、料金の安い深夜電力を充電し昼間に供給することで電力使用のピークを抑えるなど、エネルギーはますます賢く活用できるように。さらには電気を貯めておくことで、停電といった非常時にもライフラインを確保することが可能です。

「eneview」によるエネルギーマネジメントソリューションなら、電力使用量に加えて発電量も見える化し、トータル管理することができます。また、機器異常がないかどうかを24時間365日の体制で監視したり、発電効率をチェックして日々のメンテナンスに活かすことも可能。一歩進んだ「エネマネ」を万全の体制でサポートします。



### 導入事例

#### レポート

#### Before

2009年には長野県でいち早く大規模な太陽光発電システムを導入したという日本ピスコ。しかし事業拡大に伴う工場の新增設や設備更新によって、電力使用量が増加したといえます。省エネ法の特定事業者として、エネルギー使用量の削減は社会的要請でもありました。同社では消費エネルギーの9割が電力だったのですが、「総量の把握しかできておらず、どこでどれだけ電力が使われているのか詳細に把握できていませんでした」と、同社 管理1グループ・係長の中村光宏氏は振り返ります。

### 日本ピスコ 様

株式会社日本ピスコは、産業用ロボットなどに使われる空気圧機器を独自に開発し、製造・販売している専門メーカー。同社は電力使用の現状を把握するため、パナソニックISの環境監視ソフトウェア「eneview」を採用されました。

「どこでどれだけ電力が使われているのか?」を、現場の社員たちにも把握してもらいたい。

また、同社 管理1グループ・課長の佐々木和美氏は今回のポイントを次のように強調します。「過去には総務部門が一括管理するスタイルで電力計測に取り組んだこともありましたが、現場に省エネ意識を持ってもらわないと電力使用量削減は実現できません。そこで今回は、現場が直接見て使うということをも意識しました」。2013年2月、県内全5工場の電力計測を開始。計測機器にはパナソニック(株)エコソリューションズ社のエネルギーモニター「見える化」ツールにはパナソニックISの「eneview」が採用されました。「既設の

計測機器の情報も集計できること、価格面で優位性があったこと、画面操作がわかりやすいこと(佐々木氏)などが採用の決め手となりました。



株式会社日本ピスコ  
〒394-0089  
長野県岡谷市長地出早3-9-32  
<http://www.pisco.co.jp/>

#### After

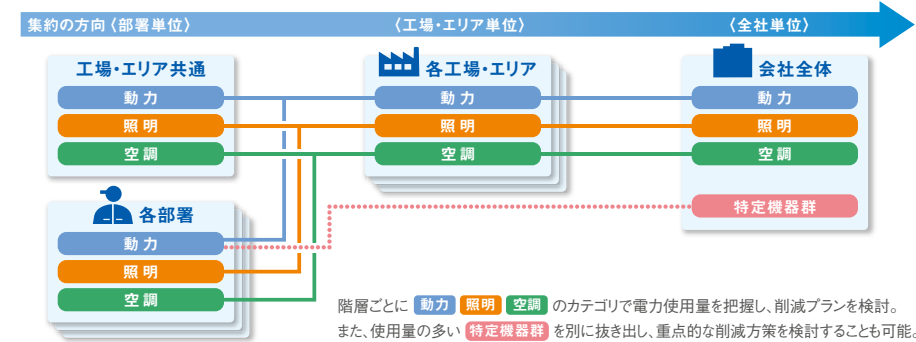
現場単位ごとに「動力」「照明」「空調」の電力見える化し、省エネ意識向上!

電力使用量の見える化を行ったあと、その情報をどう使うのか。このことを念頭に置きながら打ち合わせを重ね、各部署が「動力」「照明」「空調」の3つの観点で電力使用量を見られるよう計測機器を設置。部署単位の数値を積み重ね、工場・エリア単位、全社単位と集約していく構成としました。また、電力を多く使用する機器は削減効果が見えやすいとして、より細かなレベルで計測できるようにしました。実務者に向けた操作説明会の実施や、社内省エネ委員会での計測数値の活用を進めるうちに、現場からは「もっとこういう切り口で見たい」といった声が上がってきたとのこと。「現場の意識改革という点でも効果が出ていると感じます(中村氏)」と

手ごたえを感じている様子です。計測を始めて1年、現在は前年比の数値も確認しながら取り組みを行うようになっています。佐々木氏は「削減効果を生み出すところまで一緒に進めてもらいたい」とさらなる期待を寄せてくださいました。



株式会社日本ピスコ 管理1グループ 課長 佐々木 和美氏  
株式会社日本ピスコ 管理1グループ 係長 中村 光宏氏



階層ごとに「動力」「照明」「空調」のカテゴリで電力使用量を把握し、削減プランを検討。また、使用量の多い「特定機器群」を別に抜き出し、重点的な削減策を検討することも可能。